

# 十 OHACO おはこ 番

中小企業による、中小企業のためのメディア

創刊号

03 / 2021  
march

毎月18日発行



SDGsははじめの一步  
こころと身体の健康増進室  
DXデジタルトランスフォーメーションとは  
BtoB BtoC掲示板 / 今月のプレゼント

## 廃業寸前から一転!

「自社の強み」を洗い出して、唯一無二の町工場へ

山本製作所



▶ OHACO WEB



OHACO vol.01



特集1	3-6	<b>山本製作所</b> 廃業寸前から一転！「自社の強み」を洗い出して、唯一無二の町工場へ
	7	SDGsはじめの一歩
	8	こころと身体健康増進室
	9	DX デジタルトランスフォーメーションとは？
特集2	11-12	<b>エネファント</b> もし、電気代が0円の街があったら？
	13	わたしのコレ推し
	15-16	SMC-POWERの制作事例紹介
	17	BtoB BtoC掲示板
	18	プレゼントコーナー・編集後記

OHACOのSNS  
フォローお願いします！



## はじめに

社会情勢が大きく変わる昨今。今までの常識が当たり前ではなくなり、混沌とした時代にどう立ち向かえばいいのか、個人、そして一企業として迷ってしまうことがあります。

日本企業の九十九％は「中小企業」でこの国を土台として支えている存在です。

中小企業の力になれないだろうか。私たち自身も中小企業だからこそ有益な情報を分かち合って、互いに応援し合いたい。そういった思いからこの媒体が生まれました。

中小企業の力になる経営・働き方・事例やアイデアを中心に生活や健康など人生そのものを豊かにするビジネスメディアOHACO。

世の中を前向きに見通しながら発信する情報が、読者の皆様の「十八番」につながることを願っています。

二〇二一年三月十八日



中小企業による、中小企業のためのメディア



多治見をトコト  
"楽しむ"情報を届けます！

多治見市内のイベント・グルメ情報からドラゴンズ情報まで、今話題の内容が満載です。ぜひご覧ください！



友だち登録で  
おトクを  
ゲット！



myttline

Produced by マイタウンとうと

金属加工業を営む愛知県豊川市の山本製作所。先代である父が急死後、取引先はたった一社に激減。廃業寸前から立ち上がったきつかけは「自社の強みを洗い出すこと」と話す代表取締役・田中倫子さんに中小企業の生き残り戦略について話を聞きました。

## 山本製作所 株式会社

[所在地] 愛知県豊川市宿町野川1丁目25  
 [TEL] 0533-72-2420  
 [設立] 1975年5月30日  
 [従業員数] 7名  
 [URL] <https://yss-brand.jp>



先代から受け継ぐ真鍮(しんちゅう)加工業を生かした新製品「しっぽ貸し手」(3,630円)と「しっぽ使っ手」(7,260円)



工場全体の風景。平均年齢37歳で、製造職人として女性が多く活躍している

### 廃業寸前の町工場 看護師を辞めて継業

「温もりのある物づくり」の理念を掲げ、一九七五年から真鍮加工業を営む山本製作所。創業のきっかけは。

創業者の祖父は工業研究をする大学教授で、当時出会ったのが、現在の主力取引先である日本高圧電気の会長でした。「電力はライフラインにもっと必要になる」という共通の考えがあり、祖父は下請けを担うから相棒は大きく…といった同志の関係。祖父は、地元での雇用創出のため、ここに工場を作りました。

しかし、創業者のお祖父様と二代目のお父様が早くに亡くなられてしまう。

祖父も父も四十五歳で急死。仕方なく代表権を引き継いだのは専業主婦の母でした。取引先は減り、残ったのは日本高圧電気の主力製品だけ。祖父の代から勤める職人が定年になったら会社をたたむつもりで、取引先には他の下請けを探してもらっていたそうです。

娘である田中さんも「継業」の意志はなかったはず。なぜ継ごうと思ったのですか？

# 山本製作所

代表取締役 田中倫子  
たなかともこ



雇用される側の経験しかない私は、会社がそんな簡単に無くなる感覚を持っていませんでした。母に「廃業しようと思っ」と聞かされた時、「私は何かしてあげられた？」と疑問が湧き、「継ぎたい」という思いが強くなって。ただ、その翌年には病院を辞めてスキルアップのために大学へ通う予定だったので、すごく迷いました。

「大好きな看護師の職を離れることに葛藤があったのでは。」

子どもが二人いる状態で、まとまった給料を頂ける看護師を辞めて経営難の会社を継ぐなんて、相談した人全員に反対されました。しかし、継ぎたい思いが消えず、「背中を押してくれる人」を考え、上司のドクターに相談。「ポテンシャルがあるんだから、やらなくてどうする」「看護師は、いつでも戻れる」と応援してくれたのはその人だけでした。背中を押す一言が欲しかっただけで、自分の中では決まっていたと思います。

経営や製造業の知識もなく、何の仕事をしているかも知らない状態で「きつ」と会社を長くは残せない」と予想していましたが、父の体がなくなると以上、最後にしてあげられる親孝行はこれしかない。

## Company History （会社の成り立ち）

- 1975年 ● 初代 山本正義(祖父)が創業
- 二代目 山本好海(父)が代表取締役就任
- 2017年 ● 三代目 田中倫子が代表取締役就任
- 2020年 ● SDGsの取り組みを始める  
● コロナ禍で自社開発商品のマスクアイテムがヒット



災害時に電力の供給をストップするための部品「絶縁筒」は、東海地方におけるシェア100%を誇る

取材・文 笹田理恵  
 撮影 平山陽子